

年 組 名前：

クマガイソウ 群生地守れ

西桂・倉見山

町が監視カメラ設置

西桂町は倉見山にあるクマガイソウの群生地の保護に向け、監視カメラを設置した。カメラは赤外線センサーを備え、夜間でも録画が可能。シカなどの野生動物がどの程度群生地に侵入しているかを継続的に記録し、保全対策の参考にしたい考え。町によると、群生地周辺には柵が設置されているが、柵の内側でもシカの足跡が確認されて

おり、一部には人為的にクマガイソウを抜き取った可能性がある跡も見つかっている。保護や再生に向けた対策の一環としてカメラを設置した。

カメラは、動く物体が接近すると自動で録画を開始するタイプで、赤外線センサーによって群生地内の夜間の様子も把握できる。映像を基に野生動物の出没頻度や侵入経路を分析し、必要に応じて柵の補強などを検討する。

クマガイソウはラン科の多年草で、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧2類に指定されている。群生地は40年ほど前から地域住民が管理に当たっていたが、住民の高齢化により手入れが行き届かなくなり、倒木で柵が壊れるなど荒れた状態になっていた。

町は2月下旬に群生地の状態を確認し、職員が中心となって倒木の除去や柵の補修を実施。4月中旬までは芽が確認されなかったが、カメラを設置した4月25日までに一部で新たな芽が出ていたという。

群生地の再生に向け、堀内達也町長は「群生地は町が全国に誇れる貴重な場所。昔のように一面に広がるクマガイソウが見られるようにしていきたい」と話している。

〈森航平〉



カメラを設置する町職員 西桂町倉見

(2025 年 5 月 14 日付 山梨日日新聞 15 面)

問1 西桂町がクマガイソウの群生地の保護に向け、監視カメラを設置しました。何からクマガイソウを守るためですか。

.....

問2 西桂町は、撮影された映像から、なにを分析し対策していきますか。

・分析:

・対策:

問3 クマガイソウは、貴重な植物です。あなたは、どのように保護すれば良いと考えますか。

.....

.....